

平成27年5月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成27年5月28日(木) 開 会 午前 9時00分
閉 会 午前 10時40分

2. 会 場 茅野市役所 701会議室

3. 出席委員	教育委員長	吉田 一	同職務代理者	小平麻里子
	教育委員	小林 智	教育委員	小林 俊恵
	教育長	牛山 英彦		
出席者	生涯学習部長	木川 亮一	こども部長	牛山 洋治
	学校教育課長	平出 信次	文化財課長	守矢 昌文
	スポーツ健康課長	鋤柄 敏	公民館長	矢島喜久雄
	幼児教育課長	牛山津人志	生涯学習課長	小島 吉彦
	教育総務係長	渡辺 雄一	施設整備係長	松沢 勝
	生涯学習係長	上原 平二		
	教育総務主事	丸茂 直樹		

4. 傍聴者 2名(詳細は別紙)

吉田委員長

只今から、5月定例教育委員会を開催します。

まず、前月の4月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。5月は職務代理、または委員さんに代わりに出席をお願いすることがありました。15日には北部中学校へ主幹指導主事訪問がありましたが、欠席をしまして小林智委員さんに代わりに出席をしていただきました。システムが変わって初めての学校訪問ということで、後ほど小林委員さんからお話をしていただきたいと思います。20日に市町村教委協議会総会がありました。市美術館、原田泰造美術館の見学が研修としてありましたが、その時に諏訪市ではかなり多くの学校が運動会を春の5月、6月にやっているというお話がありました。茅野市では今のところ2つの小学校ですが、どちらがいいのかという話はまた様子を見ながら考えていくという視点も持ち続けていかなければいけないと思いました。8日と25日には接続

期スタートカリキュラム実践報告が保育士、または教員対象ということで行われました。様々なところで成果が上がっているという評価も得ていますし、具体的にそこに関わった教員、保育士さんの状況をお聞きすることができ、木村先生のご指導もありました。実際には十分な準備をしていたのかもしれませんが、比較的外側から見ても、よくこの短期間で成果を上げてくれた、という感想を持って見させていただいています。これからもこういう形で、市で進めていくことがひとつひとつ成果を結んで子どもたちのより良い教育に繋がってくれることを期待して見ていきたいと思います。私からの報告は以上ですが、主幹指導主事訪問についての報告を小林智委員からお願いします。

小林委員

15日に北部中学校、20日には永明中学校で主幹指導主事訪問がありました。今年はAタイプ、Bタイプがあり、Aタイプは従来通りの一日主幹指導主事の先生がいっしょって、学校で指導するというタイプです。Bタイプというのは今年から一日に2校及び3校訪問するという事でしたが、北部中学校と永明中学校では従来のAタイプで行われました。北部中学校も永明中学校も、昨年と比べると生徒の様子がずっと良くなっていました。昨年ですと、少し落ち着きのない子などが見受けられましたが、今年はしっかり授業を受けている姿が見受けられました。これは学校そのものが生徒達にしっかり目を向けている点、あと茅野市で進めている、共同の学びや学びあいというものが教室の中で、先生達が少しずつ進めていって生徒達が授業に関心を持ってきているのかなという風に思いました。つまらないと授業に向かう姿勢というのがありますが、やはりそういう意味で、授業を熱心にやっている姿が見られたのが印象的でした。

吉田委員長

またいくつかの学校を見た後でお話を聞くとと思いますが、第1回、第2回の主幹指導主事の訪問が終わったという事です。次に報告事項第2号、教育長報告をお願いします。

牛山教育長

1日に泉野小学校「槻木回り舞台 春の会」へ出席させていただきました。泉野小学校全体で、よくこのようなことを学校行事としてやってくれたというのが私の感想です。今年泉野小学校の児童会にふるさと委員会というのができたそうですが、その委員会は、他の学校にもありますが、どういう内容のことをやったらいいか迷っている学校が、私が知っている限りでは多かったです。しかし泉野小学校の場合は、縄文科学習の延長、発展として、学んだこと、学ぶことを全校の児童みんなで歓迎し合いましょうという意味での事が、ふるさと委員会を作ったの一番の核心だったようです。昨年の5年生が縄文科を学んで、泉野縄文物語などの物語を作って、秋の槻木回り舞台で発表しました。これが非常に好評で、校内や市民館で、多くの場で成果をあげ、泉野縄文物語を発表してくれました。これをふるさと委員会で、この雰囲気をもっと全校に広めようということで、この委員会を作ったという事が感じられました。そして私が一番学んだことは、こういうやり方というのが、泉野という地域の活性化に繋がっていると思いました。つまり教育の面から地域の活

性化ができることを強く感じました。そういう意味で、とても良いことをやってくれたなと思っています。もっと、大げさに言いますと、地方創生が言われていますが、こういうことをこういう形でやることも広い意味で地方創生という事にも繋がるのではないかと、まさに泉野の地域の活性化と色濃くリンクしているということを、学ばさせていただいたというのが私の率直な感想です。8日の幼保小連携教育保育士研修会、25日に幼保小連携教育スタートカリキュラム実践報告会がありました。子どもたちをより豊かに育むという意味で、幼保小連携教育はやって良かったというのが実感です。その良かった理由というのは、保育園の年長さんの後半6か月と小学校に入学してきた3ヵ月から4ヶ月ぐらいの期間での教育が非常に重要でありながら、下手をすると非常に難しい。どういう意味で難しいかということと保育園で育てていただいた意識が、小学校入学をきっかけにして、ぽつぽつと切れてしまう。つまり私は、子ども自身は保育園から小学校に上がるときに突然人が変わるわけではなくて体や心は連続しています。そのように考えると、保育制度から小学校教育制度へ切り替わるところが、連続しなければ教育はうまくいかないと思っていましたが、その連続という意味で幼保小連携教育が非常に成果を挙げたなと感じました。そこでよく考えてみると、幼保小連携教育は去年もやっていました、その前の年もやっていました。しかし去年やその前の年はそれほどインパクトを与えられるような成果はあまり感じませんでした。今年は心が震えるほど、ありがたいという意味合いで大きな感動を受けました。それはどうしてなのかなと考えてみました。3年ほど前から連携教育を始めましたが、その時は全部の保育園、学校がやっていたわけではありません。ところが本年度、そのように感じられたのは去年あたりから全部の保育園がアプローチカリキュラムを本気になってやった、また全部の小学校がスタートカリキュラムを本気になってやった。子どもたちからしてみるとどこの保育園から来た子どもたちでも、どの小学校においても、すべての保育園で学ぶべき事柄を全員が学んできていたという共通性があったという事。つまりそのことが保育園から小学校への接続という意味合いを保育園の先生方も小学校の先生方も理解してやってくださったので、子どもたちは驚くほど成長をしたのだと感じました。具体的にはどこの学校のスタートカリキュラムの授業を見させていただきましても、小学校に入学して8日目でありながら、もう2ヶ月、3ヵ月を過ごしたかのような雰囲気でした。つまり学校生活にどっぷり浸っており、浸っているだけでなく子どもたちが、保育園の遊びというものは、遊びを遊びとしてではなく、遊びも学習という意識で保育園の先生方が関わってくださった。つまり学校教育は遊びなんて言われていなくて、まさに学習をする場所という事はどんな人たちも思っていました、その学校教育の学習というところに子どもたちの意識が繋がっています。ですから学校での勉強が、楽しくて仕方ないという意識だということです。

何事も一生懸命やるという事がいかに重要かという事ですが、一生懸命の内容は、ある学校の1年生の授業を見させていただきましたが、ひらがなの「つ」を書くという授業で、先生が書き方を伝えて、児童に書かせましたが、子どもたちは「つ」の書き始めから書き終わりまで、呼吸を止めていました。つまり呼吸をしないぐらいの真剣さでした。これが、1年生が書いた「つ」の字とは思えないほどでした。このことから、この1時間の授業で先生が何を子どもたちに学ばせて、どういう力を高めさせたいかという狙いが実現してい

ました。これが、学年が上がるにつれて、その実現が難しくなるというのが現実です。つまり教育において授業が成立するかしないかの重要な要件のひとつは、いかに子どもたちに集中力を高めさせるかというのが、重要だと学ばせていただきました。この報告会の時にも話はありませんでしたが、保護者の方々が子どもたちの様子に一番驚いています。小学校に上がる前は、自分の子は小学校の勉強なんて嫌いなものだから、ついていけるか心配しながら、小学校に入学させたんですが、わが子の保育園の時の姿と比べてみて、全然違って一生懸命勉強していて安心しましたという感想がありました。また45分間という授業の間、これだけ集中できるのかびっくりしたという感想を持っている保護者もいました。というわけで私は幼保小連携教育をやって良かったと、学校教育は、保育園の教育と密接な連携をとって、連続するという考え方を貫き通すという教育が大事だと思いました。その他については資料のとおりです。以上です。

吉田委員長

次に報告事項第3号、各課からの報告をお願いします。

学校教育課長

5月30日ですが木島平中学校で公開授業参観があります。教育長のご出席をお願いします。31日には防災訓練があります。

6月1日には湖東小学校で主幹指導主事訪問があります。教育長と小林俊恵委員のご出席をお願いします。同じく1日に諏訪教育会館で集団給食衛生講習会があります。教育長と委員長のご出席をお願いします。4日に主幹指導主事訪問が金沢小、宮川小、長峰中学校であります。同じく4日にケータイ・インターネット全体会議があります。教育長のご出席をお願いします。6日に金沢小学校の運動会があります。教育長のご出席をお願いします。その他は資料のとおりです。

こども課長

1日から発達障害啓発週間が行われ、1階ロビーで応援メッセージボードを展示します。5日と19日に家庭教育カウンセリングが行われます。6月7日には茅野市こどもまつりが開かれます。全教育委員のご出席をお願いします。こどもまつりのパンフレットができ配布しましたのでご覧下さい。パンフレットにも書いてありますが40近くの団体に参加いただきまして、子どもたちと一日楽しく過ごすという内容であります。10日には主任児童委員会視察研修が行われます。17日には実務者会議があります。児童手当現況届受付があります。平日以外では、27日の土曜日と28日の日曜日に受付をします。その他は資料のとおりです。

幼児教育課長

9日に園長会があります。資料には書き渡らしてしまいましたが、9日に保護者会の総会がマリオローヤル会館で行われます。教育委員長のご出席をお願いいたします。8日に松井和先生の講演が長峰中学校で行われます。22日には公開保育が豊平小学校で行われ

ます。その他は資料のとおりです。

生涯学習課長

6日に稲虫まつり、多留姫文学自然の里 里まつりが行われます。26日にはボランティア交流会が行われます。読書ボランティア、読書グループが互いに連携し、読書推進活動の情報交換のために開かれます。講師の先生は静岡文化芸術大学講師の村上淳子先生です。また25日には村上淳子先生の講演会が行われます。

次に図書館の行事日程です。21日と28日に図書館を使った調べ学習講座が行われます。調べ学習が今年で9年目を迎えますが、それについてやり方等を教えるという内容です。こちらのコースは、午前、午後それぞれ8組の募集です。

家庭教育センターについては通常の運営です。その他は資料のとおりです。

公民館長

まず5月の行事の内容について報告させていただきます。20日に高齢者大学入学式が行われ新入生15名を含め152名の受講者が学びをスタートしました。25日には康耀堂美術館、尖石縄文考古館と共催で、小中高生を対象にした縄文アート講座が開かれました。小学生4名、中学生12名、高校生8名と保護者の参加もあり、総勢25名の講座となりました。縄文土器の模様は植物に通じるという事で縄文のツボを外にだし植物と重ね、思い思いの植物をツボに描きました。反省会では、京都造形芸術大学の先生の方から縄文科が始まった美術の教員に限らず参加してほしい、言葉のやりとり部分では国語の教員に来てほしい、守矢館長の興味のあるお話は社会科などの多くの教員に聞いてほしい、多くの先生方に興味を持って参加してほしい、というお話がありました。次年度に向けて学校との連携について検討をしていきたいと考えております。

次に6月の行事予定について説明させていただきます。22日にロビー展があります。縄文アートの講座の作品を展示します。公民館の近くを通った際は立ち寄ってみてください。

その他は資料のとおりです。

文化財課長

13日、14日には縄文教室が開かれ募集をかけていますが、おかげさまでほぼいっぱいになっております。27日には縄文ゼミナールの2回目が開かれます。西東京市から亀田先生をお呼びしまして、東京都西東京にあります縄文時代大きな村の構造についてのゼミをしていただくという内容です。

八ヶ岳総合博物館、守矢資料館では昨年好評と聞いていました収蔵庫の公開が13日、14日にあり、一般の方が中に入りどのような資料があり、どのような状況なのかという現場を見ていただくということに目的をおきまして公開させていただきます。

その他は資料のとおりです。

スポーツ健康課長

6月から小学生エンジョイスports教室が始まります。それと同時に幼児トリムも始まります。28日に市総合体育大会開会式があります。教育委員、教育長のご出席をお願いいたします。

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

生涯学習課長

14件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

スポーツ健康課長

5件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

吉田委員長

次に議案1、「市議会6月定例会一般質問について」、部長から説明をお願いします。

こども部長

議案第1号（資料説明）

生涯学習部

議案第1号（資料説明）

吉田委員長

このような形での質問が用意されているということですね。

吉田委員長

次に議案2、「市議会6月定例会に提出される予定の議案に対する意見について」、各課から説明をお願いします。

生涯学習課長

議案第2号（1）（資料説明）

吉田委員長

こうした補正について何か意見はございますか。

吉田委員長

特にないという事で、そのような形の補正予算になります。

こども部長

議案第2号(2)～(4)につきましては報告なのでその他で報告させていただきます。

吉田委員長

次に議案3、「茅野市児童手当法事務取扱規則及び茅野市子育て世帯臨時特例給付金支給事業実施要項の一部改正について」こども課から説明をお願いします。

こども課長

議案第3号(資料説明)

吉田委員長

質問等ありますか。

昨年度と給付金が大きく変わるということはありませんか。

こども課長

給付金が1万円から3,000円になります。

吉田委員長

減るわけですね。

こども課長

はい。

吉田委員長

支給の条件についてはどう変わりますか。

こども課長

6月分の児童手当を受けられる方、これが条件になります。特例給付というのは所得制限がありまして、所得制限を超えた方は5,000円を給付しています。これは特例給付ということで児童手当ではありません。こちらのみなさんは対象にならないという事で去年と変わっておりません。臨時福祉給付金が去年給付されて、今年度も実施されます。去年は両方を受けることはできませんでしたが、今年は受けられるようになりました。

吉田委員長

実質的、低所得者へのサービスが薄くなるという面は否めないということでしょうか。

こども部長

基本的には国の制度の中での話になりまして、特に教育委員会で決めたというわけではなく、市としての児童手当法、新しい制度での支給という内容になりますので、本来議案で上げるというのではなく、議案というよりはこういう制度になるという報告というこ

とご理解ください。

吉田委員長

低所得者に対しての給付等が減るときについては、いろんな問題がある中でも私どもも教育という観点からできるだけそれで全うされるような配慮をしていただきたいと思いますというお願いをしておきたいと思っています。

小平委員

国の決まりが変わってきたので給付が1万円から3,000円になるという理解でよろしいでしょうか。

こども課長

はい。

小平委員

1万円が3,000円になり苦しくなるという家庭はあるのでしょうか。

こども部長

特例給付金は昨年度から始まり、昨年度は1万円、今年は3,000円になったわけです。臨時特例給付金は金額が下がっていますが、児童扶養手当の金額が上がっていますので一人親については金額が上がっていると思います。

吉田委員長

ほかに質問等ありますか。

次に議案4、「図書館協議会委員の委嘱について」生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課長

議案第4号（資料説明）

吉田委員長

充て職を中心として新しい委員さんをこのようにしたいということでよろしいでしょうか。

全委員

はい。

吉田委員長

本件は承認されました。

次に検討事項1「総合教育会議について」ということで、学校教育課長お願いします。

学校教育課長

検討事項1（資料説明）

吉田委員長

運営や教育方針などのアウトラインについてはもうできていますか。

学校教育課

委員の方達と臨時で事務局と打ち合わせをお願いします。

吉田委員長

はい。

他にご質問等ありますか。

こども部長

総合教育会議はここで1回だけではなく、11月あたりにもう1回やって大綱を示すといことになると思います。

吉田委員長

新しいシステムになってという事で、具体的にどう動くかという動き方については、手探りの部分もありますけど一緒に考えていきたいと思います。

次に検討事項2「台湾交流事業のスケジュールについて」ということで、学校教育課長お願いします。

学校教育課長

検討事項2（資料説明）

吉田委員長

11月の訪問に向けて6月から少しずつ動き始めるという方向性を持っているという事、1月に高雄市の中学校来訪に向けて準備をしていくという事を承知しておくという事でよろしいですね。

学校教育課長

はい。

吉田委員長

何か質問等ありますか。

小平委員

昨年の反省でも出ていましたが、選考の方法ですが、かなりの人数が集まると思いますし、学校同士の交流も始まっていて、その経験から、応募する生徒も増えると思いますので、選考方法をどうしていくのか、ロングモントのように意見発表をしながら決めていくのか、ここを細かく、後味の悪くない決定方法を決めていかないといけないと思いました。

学校教育課長

基本的な考え方は、学校交流ということで投げかけてあります。学校と学校の交流が原則ですので、校長先生方が選考できるかどうか、各学校、基本的には1年生というような考え方を取りますが、今年からの台湾交流事業は教育委員会になりました。どうしても2年生で台湾に行きたいという生徒がいれば、学校の中でそういう選定をするのであれば否定はできないと思います。第一段階としては学校で選んでもらいたいです。学校の方でたくさん応募があつてどう選べばいいか分からないという時に、教育委員会で何かいい提案はないのかということがあれば、学校と相談しながら作文などで、保護者の方も同席する中で、今回はこういう形で選ばせていただきますなどと説明をしていかなければいけないと思っています。基本的には学校の中で選考していただければありがたいと思います。また去年は3万円の負担でしたが今年は10万円の負担という事で人数がどのようになるかわかりませんので、そのようなところを相談しながら決めていきたいと思っています。

吉田委員長

次にその他1、「国宝土偶の英語表記の統一について」、文化財課長から説明をお願いします。

文化財課長

その他1（資料説明）

吉田委員長

説明文の中に出てくるところの用語が少し変わったという事ですね。The Venus of Mask だったのが Masked Goddess という形になったところとところが私たちが一番注意しなければならないという事ですね。土偶という言葉も国際的な学術用語として認める方向も考えていくということですのでよろしいでしょうか。

次に先ほどの議案2号の（2）～（4）報告についてこども部長お願いします。

こども部長

議案第2号（2）～（4）（資料説明）

生涯学習部長

議案第2号（2）～（4）（資料説明）

吉田委員長

質問等ありますか。

小林委員

幼児教育課に聞きたいのですが、平成28年度から小学校では英語科が始まって活動していくという事で、それに伴って教育委員として、是非、保育園等で英語に関して言葉を教えるほどではありませんが、音楽などを通じて英語が耳に残るという様なことをしていただきたい、というのを所々で言わせていただいています、現状として保育園の方で何か考えている事があるのかお伺いしたいです。

幼児教育課長

市民プランの関係におきまして、教育計画の中に多文化共生事業というのがありまして、英語に親しむ、多文化共生を理解するというような視点で、取り組みを始めております。具体的には昨年度ロングモントから、交流事業という形で宮川保育園の方で、実際の高校生が親しんだ絵本を持ってきていただいて、それを英語で読んでいただいたということで、英語に慣れ親しんだということもありますし、あとは外国籍のお子さんもらっしやる訳でそういったお子さん家庭の文化を保育園の中で理解をしていただく、というような活動を始めているところです。今年度、まだ決定ではありませんが、7月の終わりにロングモントからいらっしやいますが、中大塩保育園で受け入れをして一緒に遊ぶというようなことをやっていきたいと思っていますし、また教育長の方からも、そういった事業を是非という事でお話を受けていまして、午前中の活動の中で体操の音楽の中に英語やいろんな文化の言葉を意識的に入れることによりまして、そのようなものに理解をしていくという事を考えております。

小林（智）委員

徐々に活動が進んでいるという事を聞かせていただきました。その中でロングモントの交流となりますとひとつの園との交流になってしまいましたが、それはそれとして全園でやっていただけるような形にさせていただけると嬉しいかと思います。多文化という部分でいくと小学校で英語教育が始まるという事でのお願いになりますが、体操の中で英語の曲でリズムを取って感じていく、とにかく英語を聞く機会を増やしていくと、それだけでいいかなと思います。これは英語の曲ですと言うのではなく、英語が自然に入ってくるのが幼児期というのは耳に残ってくるといいますので、そうしますと幼保小連携教育と似ているんですが小学校に入ってきますと教育の面でもスムーズにいくと思います。親御さんの中でも英語というものはこれから始まるという事で心配しているという人もいますので、あまり考えて教えるのではなく、このように自然に聞けるようにしていただいたら嬉しいと思います。

吉田委員長

英語に耳をなれさせる機会を増やしたいという事ですが、またそのようなことにもご検

討ください。

次回定例教育委員会ですが、6月29日月曜日午後3時から、事前を午後2時30分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で5月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成27年5月28日

茅野市教育委員会 委 員 長

職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

こども部長